

船舶事故等調査報告書

平成22年7月29日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第34号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年2月21日（日） 07時37分ごろ	
発生場所	大分県国東市 国東港田深沖防波堤灯台から真方位072° 1,100m 付近 (概位 北緯33° 34.5′ 東経131° 45.2′)	
事故等調査の経過	平成22年2月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 漁船 <sup>ことぶき</sup> 寿丸、4.63トン OT3-26936（漁船登録番号）、個人所有 B モーターボート キャプテンナツ、2.80トン 272-15920福岡、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、二級小型船舶操縦士 B 船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	A なし B 友人3人が軽傷	
損傷	A 右舷船首部擦過傷、ローラー損傷 B 左舷中央部擦過傷、左舷側窓ガラス損傷	
事故等の経過	A船は、船長1人が乗り組み、約8ノット（kn）の速力で手動操舵により南西進中、B船は、船長1人が乗り組み友人4人を乗せて、約4knの速力で手動操舵により南進中、平成22年2月21日07時37分ごろ、国東港東北東方沖において、A船の右舷船首部とB船の左舷中央部が衝突した。 両船とも、自力で国東港に入航した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：凪	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、国東港東北東方沖を南西進中、B船は南進中、両船とも適切な見張りを行わず、回避動作が遅れたものと考えられる。 船長Aは、左舷船尾で遠隔操縦のリモコンを持って操船中、操舵室が死角となり、右舷前方が見えなかった可能性があると考えられる。 船長Bは、南進中、左舷後方から接近するA船に気付かなかつた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、国東港東北東方沖において、A船が南西進中、B船が南進中、両船が適切な見張りを行わなかつたため、両船が衝突したことにより発生	

	した可能性があると考えられる。
--	-----------------